

3 小地域ケア会議

(1) 検討テーマ、実績

包括名	テーマ
板橋 仲宿	不衛生な環境を改善できない利用者への支援について
仲町 熊野	キーパーソンである精神疾患を抱えた長男の言動で、支援に支障をきたしている事例 一時帰国中に、独居の母親の介護と利用者自身が「認知症」と「うつ」から金銭管理や日常生活全般に介護が必要になったケース
富士見	高齢になった外国人の方への地域や周囲での関わりについて
大谷口	多様な問題を抱える要支援1の娘と要介護3の父が在宅で生活を続けるには
常盤台	近隣にスーパーがない高齢者のために地域で対策を考える 金融機関との連携のために
清水	家族に危機感のない認知症の人を地域でどう見守るか 自宅が物で溢れており、足の踏み場がなく生活環境を損なわれている家をどうすればいいか
志村坂上	アルコール依存症の方が地域に戻り暮らすために必要な事って何だろう 介護サービス事業者の変更が続く対象者への支援について
中台	地域と共にその人らしい生活を実現するために
前野	前野地区の孤独死について 身寄りがいない高齢単身者を支えるケアマネジャーの心得
蓮根	新型コロナ禍における高齢者の影響とその支援について 立ち退きを迫られている身寄りのない92歳男性の支援
舟渡	長年、寝たきり状態の生活だった利用者が身体機能を回復していくための支援 生活リズムの乱れが強く、体調が不安定だが自宅での生活を強く希望されている身寄りのない独居の利用者への支援
桜川	「ほっといてくれ」と訪問介護サービスの利用を拒否し、セルフネグレクトにより死亡した事例 新型コロナを理由に通所利用を拒否、しばらく訪問リハを受け入れ3か月経過した事例
下赤塚	まずは身近なところから、特殊詐欺を防ぐために私たちが出来ること 高齢者の万引きについて
成増 三園	医療の選択と本人、家族の思いを経て、住まいの場を変えるまでの相談の経過について
成増	認知症の方が地域で安心して暮らしていくための支援について
三園	支援拒否があり、社会的に孤立している独居高齢者に対する見守りの対応について
徳丸	慣れ親しんだ地域で最後を迎えるために必要な社会資源・仕組みにつて考える 難病を抱える独居高齢者の在宅生活継続に必要な支援について
高島平	認知症高齢者の独居生活支える連携やサービスの視点
計	実施回数 28回 25事例 参加者数 571名

※小地域ケア会議とは…支援困難事例等の支援内容の検討を通じ、ケアマネジメント実践力の向上、地域のネットワークの構築、地域課題の把握を目的とする会議体。

(2) 会議出席者

おとしより相談センター、おとしより保健福祉センター以外の会議出席者（機関）の延べ参加人数は以下の通り。

主任介護支援専門員	104 人
介護支援専門員	80 人
訪問介護事業所	8 人
通所介護事業所	2 人
福祉用具専門相談員	3 人
地域密着型サービス職員	3 人
老健や有料等入所施設	9 人
民生委員、民生児童委員	48 人
町会連合会、町会長、自治会	6 人
老人クラブ、老人クラブ連合会、 支え合い会議、SC など	6 人
社会福祉協議会(生活支援コー ディネーター、権利擁護いたばしサ ポートセンター)	14 人

医師・歯科医師	9 人
薬剤師	3 人
訪問看護等の看護師	9 人
病院ソーシャルワーカーなど	10 人
PT・OT・ST などのリハ職	4 人
法曹界	2 人
警察署(ふれあいポリス)	12 人
金融機関・住宅管理会社	74 人
ボランティアセンター、発達障がい 者支援センター	3 人
福祉事務所・健康福祉センター・障 がい者センター、地域センター、図 書館職員	7 人
コンビニ店長など	6 人

(3) 事例から見た地域課題

28 事例から見た地域課題について、記載があった 43 の課題(重複あり)は以下の通り。

地域課題	課題数	%
ケア(医療、介護、リハ、住まい、生活支援など)が不足している	16	57%
ケア提供者の実践力や連携が不足している	7	25%
地域の方の理解が不足している	10	36%
その他	10	36%

(4) 地域課題の具体的内容

- ① 支援者の実践力や専門機関との連携など
- ② 認知症に関すること
- ③ ACP の理解促進など医療・介護連携の推進
- ④ 買い物困難地域
- ⑤ 見守りに関すること
- ⑥ 通いの場や交流機会などインフォーマルサービス
- ⑦ その他
 - ✓ 外国籍の方への対応
 - ✓ 高齢者の万引き
 - ✓ ゴミ屋敷
 - ✓ 地域福祉権利擁護事業や成年後見制度の啓蒙活動
 - ✓ 高齢者の安定した住宅の確保(入居拒否や立ち退き要請)